



2009年5月

さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## ASO(閉塞性動脈硬化症)について

名古屋共立病院 外来治療センター 課長 加納智美

みなさんをご自分の足を毎日観察していますか？そう聞かれて「はい」と答える方はそんなに多くないと思います。普通は、足が痛むと靴の中や足を見たりしますが、糖尿病などをわずらって神経障害などの合併症を起こしている場合、くぎが刺さっていても痛みを感じない場合があります。そしてある日、すごい傷になってしまってから発見されるという嘘のような話が、現実には起きています。今日は、みなさんの足を守るため「ASO（閉塞性動脈硬化症）」についてお話させていただきます。



### 1. ASO とは

足の血管が狭くなったり、閉塞したりと血行が悪くなる病気です。そのような状態は、高血圧や尿毒症性物質により、透析に入る前の保存期腎不全の時から動脈硬化は始まっています。さらに透析が加わり、長期間となるとカルシウム・リンのコントロールが不十分となり血管の石灰化が促進します。また、糖尿病がある方も動脈硬化が促進されてしまいます。当院の透析クリニックでは定期的に ABPI（上下肢血圧比）を測定して ASO の早期発見に努めており、軽症のうちから必要な方には内服治療を始め、重症な ASO にならないようにしています。